

報道関係者各位

プレスリリース

2023年4月3日
共立製薬株式会社
東北大学大学院農学研究科

共立製薬株式会社が東北大学大学院農学研究科と 「動物粘膜免疫学共同研究講座」を設置

～抗菌物質のみに頼らない家畜・家禽・養魚の粘膜感染症制御の実現へ～

共立製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高居 隆章、以下「当社」）は、抗菌物質のみに頼らない家畜・家禽・養魚の粘膜感染症制御を実現すべく、東北大学大学院農学研究科（宮城県仙台市、以下「東北大」）と2023年4月1日に「動物粘膜免疫学共同研究講座」を設置しました。東北大の動物粘膜免疫学を専門とする教授1名、助教1名、特任助教1名、そして客員教授として当社社員1名が所属し、家畜・家禽・養魚の粘膜組織に備わる免疫機能を向上させるための素材（例：微生物・代謝物）の開発に着手します。



東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

産業動物は、特に幼若期に高頻度で感染症を発症します。また、その多くは、消化器や呼吸器といった粘膜組織で発症する粘膜感染症（例：下痢症、肺炎）であることが知られています。動物の粘膜組織には、特有の免疫システム（粘膜免疫※1）が発達しており、粘膜感染症を引き起こす病原ウイルス・細菌を排除するための重要な役割を有しています。本講座は動物の粘膜免疫に着目し、その機能強化を可能にすることで、動物の粘膜感染症に対する効果的な予防・治療法を確立します。また、その実用化に向けた取り組みを、大学—企業—現場の三者が一体となって加速させるべく、本講座は千葉県農業共済組合と連携し、現場に即した研究開発に取り組めます。

【講座概要】

研究題目：動物粘膜免疫学研究

設置期間：2023年4月1日から2026年3月31日まで

研究目的：家畜・家禽・養魚の感染症制御を目的とした抗菌物質のみに頼らない素材の開発とその実用化

研究内容：

本講座が一早く実用化を目指す、子牛の下痢症治療を目的とした有用微生物移植は、健康な子牛（ドナー）の腸内微生物を、下痢症を発症する子牛（レシピエント）に移植することで、疾病の治癒を可能にする技術です。東北大は、千葉県農業共済組合とともに実施したフィールド試験を通して、有用微生物移植による子牛の下痢症治癒効果を実証、さらには、有用微生物移植により腸内の免疫・微生物・栄養代謝環境の安定化が可能になる科学的エビデンスを取得することに成功してきました。本講座では、この有用微生物移植を日本全土に普及させるべく、子牛の下痢症制御を目的とした有用微生物カクテルを開発します。

※1 粘膜免疫

消化器、呼吸器、生殖器といった粘膜組織で発達する免疫システムで、粘膜組織で引き起こされるウイルス・細菌感染から身を守る上で重要な役割を有している。

【共立製薬株式会社について】

1955 年創業。「動物と人の進む道を創る」をミッションに掲げ、動物医療のリーディングカンパニーとして、犬・猫用医薬品や畜水産動物用医薬品などの開発、製造、販売、輸出入をしています。

名称：共立製薬株式会社

代表者：代表取締役社長 高居 隆章

会社設立：1955 年 5 月

資本金：5,500 万円

従業員数：699 人（2022 年 5 月末時点）

事業内容：動物用医薬品などの開発・製造・販売・輸出入

URL：<http://www.kyoritsuseiyaku.co.jp/>

【東北大学大学院農学研究科について】

東北大学の 5 番目の学部として 1947 年に農学部が発足。その後、1953 年に大学院農学研究科が発足。

東北大学の建学の理念「研究第一（Research First）」「門戸開放（Open Door）」「実学尊重（Practice-oriented Research）」に基づき、人類が生きていくための「食料（Food）」「健康（Health）」「環境（Environment）」を課題に取り組む生物の産業科学に関する教育と研究を行なっています。

名称：国立大学法人東北大学大学院農学研究科

代表者：研究科長 北澤 春樹

発足：1947 年 4 月

URL：<https://www.agri.tohoku.ac.jp/jp/>

【講座・研究に関する問い合わせ先】

東北大学大学院農学研究科 動物粘膜免疫学共同研究講座

教授 野地智法（のち とものり）

電話：022-757-4312 mail：nochi@tohoku.ac.jp

【報道関係に関する問い合わせ先】

東北大学大学院農学研究科 研究推進係

電話：022-757-4002 mail：agr-kensui@grp.tohoku.ac.jp

【共立製薬に関する問い合わせ先】

共立ホールディングス株式会社 グループ広報部

電話：03-3263-2931 mail：hd_press@kyoritsuseiyaku.com